株式会社NTTデータ北海道

NEWS RELEASE

2025年12月10日
株式会社NTTデータ北海道
NTTアドバンステクノロジ株式会社

札幌市をフィールドとしたAIエージェントの実証実験の開始について
～RelAiナレッジアシスタントとWinActorを組み合わせた AIエージェントによる旅費事務の効率化～

株式会社NTTデータ北海道（以下：NTTデータ北海道、本社：北海道札幌市、代表取締役社長　植村　隆弘）と、NTTアドバンステクノロジ株式会社（以下：NTT-AT、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：伊東 匡）は共同で、SAPPORO CO-CREATION GATE[*1]を通じて札幌市（市長：秋元 克広）をフィールドとした行政内部事務（旅費事務）の効率化・高度化に関する実証実験（以下：本実証）を提案し、このたび札幌市との協議の上、実施するに至りました。

NTT-ATが提供する生成AI「RelAi™（リライ）ナレッジアシスタント[*2]」と純国産RPAとして親しまれている「WinActor®[*3]」をAIエージェントとして連動させる環境を構築し、札幌市と連携して行政内部事務の効率化検証を実施します。

1. 実証実験の概要

（1）実施期間

2025年11月28日～2026年3月31日（予定）

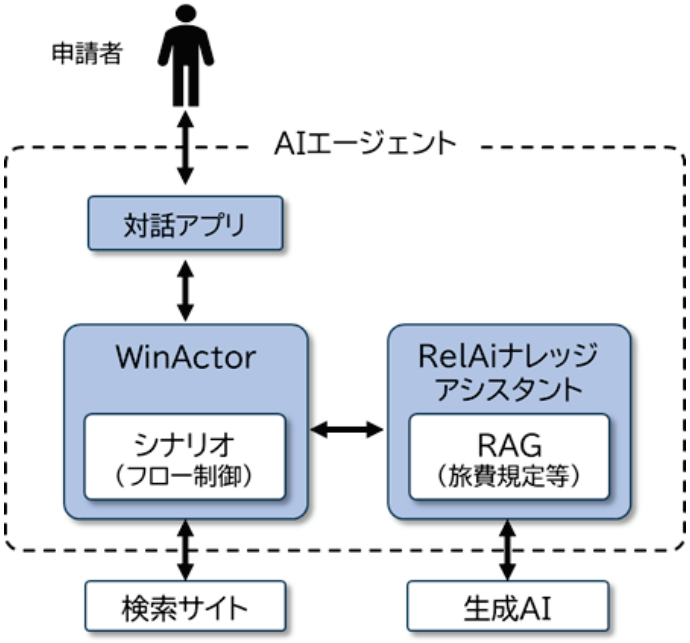
（2）実証の背景と目的

札幌市の旅費事務は、出張行程の決定や旅費計算、チケット手配、財務会計システムへの入力など多岐にわたる手続きが必要であり、条例や規則に基づく複雑な制度運用が求められます。そのため、制度理解不足による誤りや修正作業、根拠資料作成・突合確認などの事務負担が大きく、さらに出張頻度が低い部署では知識習得の費用対効果が低いという課題があります。

本実証では、生成AIとRPAを組み合わせたAIエージェントを活用し、旅程作成や規程確認を自動化・効率化することで、作業時間の短縮、誤り防止、職員負担軽減の効果を検証します。

（3）実証環境

申請者と対話するアプリケーション、全体フローを制御するWinActor、旅費規程類などをRAGとして保管し、LLMへ投げかけを実施するRelAiナレッジアシスタントの3つのアプリケーションが、AIエージェントとして申請者の要望に応じ連動する環境を構築します。

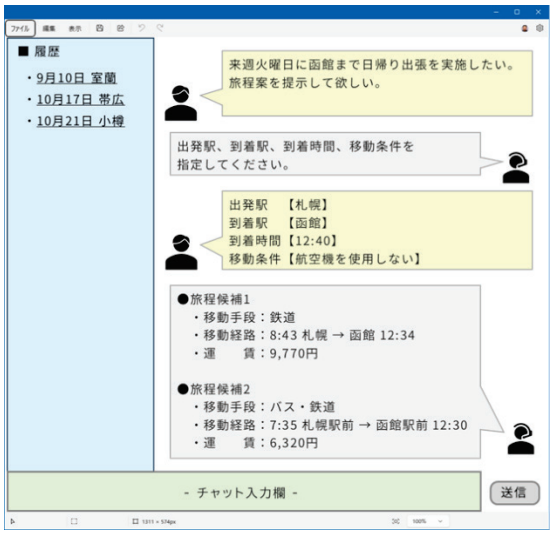


【実証実験の流れ】

(4)実施内容

申請者がAIエージェントに対して、出張日や出発地・到着地、その他各種条件を対話形式で問い合せすることにより、旅程候補を提示します。

本実証では、一連の作業時間の短縮、適切な旅程提示および使い勝手や実運用に向けた課題の抽出を実施します。



【対話アプリのイメージ】

2. 今後の取組み

本実証で得られる成果や課題などを踏まえ、AI関連サービスをブラッシュアップし、札幌市をはじめ全国の自治体の業務効率化・高度化に貢献できるよう、NTTグループで連携して取り組んでまいります。

*1 SAPPORO CO-CREATION GATE（札幌市官民連携窓口）
民間事業者からの提案受付、事業化に向けた調整、情報発信などを行う官民連携に関するワンストップ窓口
https://www4.city.sapporo.jp/scg/
*2 RelAiナレッジアシスタント
蓄積された文書等のナレッジを活用して、さまざまな業務で生成AIの活用を支援するサービス
https://www.ntt-at.co.jp/product/relai-knowledge-assistant/
*3 WinActor
毎日の定型的な業務を自動化するツール。生成AIとの連携でAIエージェントとして活用が可能。
https://winactor.biz/

※本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
※掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先
株式会社 NTT データ北海道
公共ビジネス事業部公共営業部
水沼
kokyo-sales@nttdata-hokkaido.co.jp

NTT アドバンステクノロジ株式会社
【商品に関するお問い合わせ先】
WinActor お問い合わせページ
https://winactor.biz/inquiry/winactor.html
RelAi ナレッジアシスタント　お問い合わせ先ページ
https://www.ntt-at.co.jp/product/relaiknowledge-assistant/

【報道関係のお問い合わせ先】
経営戦略室　経営企画部門
広報担当
後藤・根本